

# 令和 4 年度 事業報告書

デイサービスセンターやすらぎ (定員 30名)						
		令和 4 年度	令和 3 年度		前年度対比	
			4 月～7 月	8 月～3 月		
稼働状況	実績稼働率	85.37%	74.18%	85.36%	-	0.01%
	目標稼働率	96.70%	85.00%	96.70%	-	
	差異	-11.33%	-10.82%	-11.34%	-	
	年間延べ利用人数	7,555人	7,774人		-219	
	平均要介護度	2.13	2.29		-0.16	
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 第 4 期経営 5 か年計画 (4 年目) の推進</li> <li>② 利用者の確保及び在宅介護の支援</li> <li>③ 個別援助計画に基づく自立支援及び介護予防を踏まえた専門的サービスの提供</li> <li>④ 人材養成の積極的展開</li> <li>⑤ 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携</li> <li>⑥ 感染症対策の強化</li> <li>⑦ 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施</li> <li>⑧ 介護予防・日常生活支援総合事業の効果的運用</li> <li>⑨ 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化</li> </ul>					
総括	<p>事業運営状況は、定員 30 名、年間運営日数 302 日 (令和 5 年 1 月はコロナの影響で 6 日間事業所を自主休業した。)、年間延べ利用人員 7,555 人 (通所介護 6,086 人、総合支援事業 1,469 人) で前年度比 219 人の減となり、定員に対する稼働率 85.37% で前年度比 0.01% の増、平均要介護度 2.13 で前年度比 0.16 ポイントの減であり、予算達成することはできなかった。</p> <p>また、予防給付・日常生活支援総合事業 (要支援 1、2) の登録人員は 22 名であった。</p> <p>② 利用者の確保及び在宅介護の支援</p> <p>本年度は、通所介護事業所として他事業所とのサービスの差別化を図るために、サービス検討委員会にて利用者の意向調査によるサービスメニューの開発に向けての検討や提供方法、サービスの質の向上を図るための検討を行ない、機能訓練の一環として、地域に出かけていき、地域資源の活用をすることで、その人がその人らしく地域で在宅生活が継続できるよう努めた。地域に出かけていく機会を増やしたことが、楽しみにつながり、追加で積極的に利用される方も増えた。このことが、通所介護事業所としての「売りとなるサービス」として家族や居宅介護支援事業所等にアピールできた。しかし、年間を通して入所や入院等を原因としてサービスの利用が無くなった方が増えた。そのため、各居宅介護支援事業所に新規利用者の依頼を行ったが、新規利用者確保や回数増につなげることができなかった。その結果、本年度、予算稼働率の達成につなげることができなかった。</p> <p>次年度は、通所介護事業所としての「売りとなるサービス」として、事業所内での楽しみとなるサービスを各居宅介護支援事業所にアピールすることで新規利用者確保につなげていきたい。しかし、利用者個々の状態に合わせ、介護予防に効果的なメニュー (介護ロボット・パズル・習字・カラオケ等) を提供したほか、他の利用者等との交流支援、自立・生き甲斐支援等を目的としたグループ活動・集団レクリエーションに取り組んだ。その結果、利用者との間でなく、利用者同士のコミュニケーションも増え、良好な人間関係を築くことができた。</p> <p>さらに、利用者が「家で寝てばかりでなく、洗濯物たたみや、編み物を再開し始めた。」等の日常生活における積極性を取り戻してきたなどの状態の変化に対する評価が得られる等、在宅介護支援として大きく役割を果たすことができたことは評価できる。</p> <p>次年度も引き続き、利用者個々の状態に応じた介護予防プログラムを提供し、取組みのまとめ・評価を家族にフィードバックしていく。</p> <p>⑥ 感染症対策の強化</p> <p>感染症の発生・拡大・再発防止のため、感染予防策の徹底や職員研修の実施及び施設環境整備に努めた。また、厚生労働省からの通知に基づく対応を徹底した。</p> <p>本年度は、令和 5 年 1 月 4 日利用者 1 名が新型コロナウイルス感染症に罹患したことを機に、1 月 17 日利用者 3 名、職員 1 名、1 月 19 日利用者 1 名、1 月 20 日利用者 2 名、職員 1 名、1 月 21 日利用者 2 名、職員 1 名、1 月 23 日利用者 2 名、1 月 24 日職員 1 名、1 月 25 日職員 1 名が感染し、感染が拡大していきつつあったことを受け、法人本部の指示により令和 5 年 1 月 25 日から令和 5 年 1 月 31 日までの 6 日間、事業所の営業を自粛した。その結果、これ以上の感染拡大を防止できた。結果として、新型コロナウイルス感染症の陽性者は利用者 25 名、職員 8 名であった。次年度も、感染症の発生・拡大・再発防止を徹底し、感染予防に努める。</p>					

令和4年度

# 事業報告書

デイサービスセンターやすらぎ

## 〈基本理念〉

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

## 〈重点項目〉

- ① 第4期経営5か年計画（4年目）の推進
- ② 利用者の確保及び在宅介護の支援
- ③ 個別援助計画に基づく自立支援及び介護予防を踏まえた専門的サービスの提供
- ④ 人材養成の積極的展開
- ⑤ 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携
- ⑥ 感染症対策の強化
- ⑦ 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施
- ⑧ 介護予防・日常生活支援総合事業の効果的運用
- ⑨ 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

本年度は、当法人の基本理念に基づき第4期経営5か年計画の（4年目）として、以下の事業を取組むとともに、桜谷荘季節行事等へも参画し、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

事業運営状況は、定員30名、年間運営日数302日（令和5年1月はコロナの影響で6日間事業所を自主休業した。）、年間延利用人員7,555人（通所介護6,086人、総合支援事業1,469人）で前年度比219人の減となり、定員に対する稼働率85.37%で前年度比0.01%の増、平均要介護度2.13で前年度比0.16ポイントの減であり、予算達成することはできなかった。

また、予防給付・日常生活支援総合事業（要支援1、2）の登録人員は22名であった。

### 〈四半期毎の利用状況〉

第1四半期（04月～06月）：	85.47%
第2四半期（07月～09月）：	91.01%
第3四半期（10月～12月）：	81.17%
第4四半期（01月～03月）：	76.83%

## 1 第4期経営5か年計画（4年目）の推進

本年度は、第4期経営5か年計画の4年目として経営計画検証委員会において計画に対する実践状況の検証を行った結果、概ね計画どおり推進することができた。

次年度も引き続き、第4期経営5か年計画の最終年度として「地域貢献への積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す」の3つを重点目標に掲げ、法人理念の5本柱をもとに第4期経営5か年計画を積極的に推進していきたい。

特に、次年度が第4期経営5か年計画の最終年度であることから、法人の設置する経営計画策定委員会に参画し、第4期経営5か年計画の評価・まとめ及び第5期5か年計画の策定に取り組みたい。

## 2 利用者の確保及び在宅介護の支援

本年度は、通所介護事業所として他事業所とのサービスの差別化を図るために、サービス検討委員会にて利用者の意向調査によるサービスメニューの開発に向けての検討や提供方法、サービスの質の向上を図るための検討を行ない、機能訓練の一環として、地域に出かけていき、地域資源の活用をすることで、その人がその人らしく地域で在宅生活が続けられるよう努めた。地域に出かけていく機会を増やしたことが、楽しみにつながり、追加で積極的に利用される方も増えた。このことが、通所介護事業所としての「売りとなるサービス」として家族や居宅介護支援事業所等にアピールできた。しかし、年間を通して入所や入院等を原因としてサービスの利用が無くなった方が増えた。そのため、各居宅介護支援事業所に新規利用者の依頼を行ったが、新規利用者確保や回数増につなげることができなかった。その結果、本年度、予算稼働率の達成につなげることができなかった。

次年度は、通所介護事業所としての「売りとなるサービス」として、事業所内での楽しみとなるサービスを各居宅介護支援事業所にアピールすることで新規利用者確保につなげていきたい。しかし、利用者個々の状態に合わせ、介護予防に効果的なメニュー（介護ロボット・パズル・習字・カラオケ等）を提供したほか、他の利用者等との交流支援、自立・生き甲斐支援等を目的としたグループ活動・集団レクリエーションに取り組んだ。その結果、利用者と職員の間だけでなく、利用者同士のコミュニケーションも増え、良好な人間関係を築くことができた。

さらに、利用者が「家で寝てばかりでなく、洗濯物たたみや、編み物を再開し始めた。」等の日常生活における積極性を取り戻してきたなどの状態の変化に対する評価が得られる等、在宅介護支援として大きく役割を果たすことができたことは評価できる。

次年度も引続き、利用者個々の状態に応じた介護予防プログラムを提供し、取組みのまとめ・評価を家族にフィードバックしていく。

### 3 個別援助計画に基づく自立支援及び介護予防を踏まえた専門的サービスの提供

#### 1) 個別援助計画に基づく専門的サービスの提供

個別援助計画に基づくサービスを提供するため、個別援助計画と連動させたサービス確認書（個別のサービス実施予定表）を活用し、個別性の高いサービスの提供とサービスの抜け落ち防止に努めた。また、ケース検討委員会・ミーティングの場を活用してモニタリングを実施し、その内容を日々のサービスに反映させた。次年度も継続して、ほのぼのシステムを活用してのサービス提供及びモニタリングを実施することでサービスの質の向上取組んでいきたい。

#### 2) 介護予防への取組み

個別リハビリ、グループリハビリなど介護予防に力点を置き、実施記録、評価様式を策定し、3か月・6か月ごとの評価を実施することで、介護予防の取組み効果に関する意識が高まり、主体性が生まれ、利用者個々のレベルに見合う介護予防メニューの実践につながった。

### 4 人材養成の積極的展開

#### 1) 基本理念の理解と周知徹底

本年度は、基本理念を周知するため、法人主催の基本理念説明者養成研修を受講した職員により、年3回（令和4年4月5日・令和4年10月19日・20日）の研修会を実施した。

また、基本理念の理解を深めるため、発達支援・自立支援に向けたサービスの確立を重点項目として、「在宅時に困らない」を目標に機能訓練と介護が自立支援に向けて連動したサービスとなるよう、OJTやミーティングでの事例検証を重ねた。

また、基本理念に基づく利用者主体のサービスを提供していくために、利用者主体の様々なサービスを実践し、日々、基本理念に基づいたサービスが提供されているかを確認すること及びサービス評価委員会による定期的なサービスの質についての確認・検証を実践することで人材養成の強化につなげることができた。

次年度も基本理念を周知し現場で理念を実践できるようにすることで、人材養成に繋げていく。

#### 2) 従事職員の資質向上及び人材養成のため、以下の研修を実施

##### ① 新任職員指導

本年度、新任職員は未採用であったが、次年度は、施設長をはじめ全職員がチューター制に対する理解を深め、効果的な運用に努めなければならない。

##### ② 中堅職員の研修

事業所内研修、介護実習、介護者教室等の指導を中堅職員が担当するとともに、勉強会等を開催して中堅職員としての自覚と素養を培うことができた。次年度も引続き、中堅職員としての自覚と素養を培うために研修を実施していく。

##### ③ 事業所内研修・派遣研修

事業所内研修は、介護にかかる基礎知識の反復研修をはじめとして、「身体拘束の防止」、「介護事故予防」、「感染症対策」についても、研修委員会が中心となって年間カリキュラムに基づき取組んだ。

次年度も職員のスキルアップを図り、資質向上及び人材養成のために研修を実施していきたい。

##### ④ 認知症の専門研修

認知症の専門研修（認知症介護実践リーダー研修、認知症介護実践者研修）を受講した職員が、専門的な知識・技術を身につけ、職員にそれを研修し実践することで、サービスの質の向上を図れた。次年度は、他の職員についても認知症の専門研修を受講し、科学的根拠に基づいたサービスを提供できるようにする。

#### 3) 人事考課制度の運用

人事考課制度により、職員個々における自己評価及び指導者との育成面接などを通じて職員として就業にかかる目的の明確化を図るとともに、適切な評価、指導を通じて人材育成及び信頼関係の構築に努めた。

しかし、年間計画に基づく人事考課制度の見直しや考課者の効果基準の統一については課題があり、効果的な運用に繋げることができなかった。次年度は、年間計画に基づく人事考課制度の見直し及び考課者の効果基準の統一に取組まなければならない。

#### 4) 委員会活動

委員長会議を年3回（令和4年5月28日・9月24日・令和5年2月28日）開催し、委員会活動の進捗状況の確認を徹底した。その結果、各委員会の年度目標は概ね達成できた。

また、委員会活動を通して、職員が主体性をもって仕事に取り組む事につながり、業務の活性化が図られた。次年度も引続き、各委員会が適正に運営できるように、委員会活動の進捗状況の確認を徹底していく。

### 5 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携

通所介護サービスにより提供されているサービスが、地域包括支援センターの介護予防計画、居宅介護支援事業所の居宅サービス計画に基づき、適正に提供されているか、また、その効果の検証を行なうため、担当者会議等の場で検討し、併せて、利用者の状況把握、提供されるサービスの見直しを実施してきた。その結果、利用者・介護者・ケアマネジャー・サービス提供事業者が一堂に会して行う担当者会議において、利用者の状態確認、サービス内容などの検証を行うことで、情報報の共有化ができサービスを主体的に利用する姿勢がうかがわれた。

次年度も在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携し、居宅サービス計画に基づき、サービスが適正に提供されているか、また、その効果の検証を行なうため、担当者会議等の場で検討していきたい。

### 6 感染症対策の強化

感染症の発生・拡大・再発防止のため、感染予防策の徹底や職員研修の実施及び施設環境整備に努めた。また、厚生労働省からの通知に基づく対応を徹底した。

本年度は、令和5年1月4日利用者1名が新型コロナウイルス感染症に罹患したことを機に、1月17日利用者3名、職員1名、1月19日利用者1名、1月20日利用者2名、職員1名、1月21日利用者2名、職員1名、1月23日利用者2名、1月24日職員1名、1月25日職員1名が感染し、感染が拡大していきつつあったことを受け、法人本部の指示により令和5年1月25日から令和5年1月31日までの6日間、事業所の営業を自粛した。その結果、これ以上の感染拡大を防止できた。

本年度、結果として、新型コロナウイルス感染症の陽性者は利用者25名、職員8名であった。

次年度も、感染症の発生・拡大・再発防止を徹底し、感染予防に努める。

1) 感染経路の遮断（病原体を持ち込まない、持たさない、拡げない）

① 利用時には利用者及びその家族等の健康状態を確認し、施設が送迎する際には利用者宅で、家族等が施設へ送迎する際には施設玄関でバイタルチェックを行い、感染症の疑いや発熱等が確認された場合には利用中止等を調整した。

② 標準予防策（スタンダード・プリコーション）の徹底として、手洗いのほか、血液、嘔吐物、排泄物等を扱うときは、マスク・手袋・エプロン・ガウンを着用した。

③ 職員、来訪者が感染症の病原体を施設外部から持ち込まないように、来所時の検温とその記録を徹底した。

④ 感染経路別（接触感染・飛沫感染・空気感染・血液媒体感染等）予防策として不織布マスクを利用者及び職員に実施し、衝立やフェイスシールドの有効活用、定時及び随時の消毒を徹底した。

2) 感染症対策委員会の創設と適正な運営

感染症対策委員会を創設し、定期的に開催し、常に最新の情報を収集し、感染症対策委員会においてマニュアルの見直しを行った。

3) 感染症発生時の対応

新型コロナウイルス感染症に罹患した、また濃厚接触者と認定された利用者及び職員に対して、保健所や法人本部に状況を報告し対応策の指示を仰ぐ等、緊密に連携を取った。また、有症者の状況やそれぞれに講じた措置等を記録した。

4) 職員研修及び模擬訓練

令和4年12月8日、12月9日に感染予防策の意義・重要性について研修を行い、職員の意識の向上と予防対策の周知徹底を図った。

7 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施

令和4年9月1日から記名式にて「職員の言葉づかい・態度」の項目について、利用者満足度調査をアンケート調査方式で行った結果、いずれの項目も概ね良好との回答が得られた。

また、調査結果については、令和5年3月22日より利用者からの要望等に対するセンターとしての対応策について文章にて説明を行った。よって、次年度も引き続き、利用者満足度調査を実施して、利用者・家族のサービスに対する思いを把握し、利用者・家族の視点に立った通所介護サービスに反映させていく。

また、本年度は令和4年11月1日～11月14日にかけて全職員を対象に兵庫県福祉サービス第三者評価の自己評価票に基づき、サービス自己評価を実施した結果、職員の事業所で提供している各サービスの目的（ねらい）についての理解度に課題が見られたため、令和4年11月21日に職員研修を実施し、それぞれのサービスについての目的（ねらい）の理解と周知を図ることができた。

8 介護予防・日常生活支援総合事業の効果的運用

介護予防・日常生活支援総合事業の利用者に対して、本事業の中心的機関である地域包括支援センターと連携を取りながら利用者の受け入れを行い、介護予防計画に基づき、日常生活上の支援及び機能訓練、又はレクリエーションを提供した。

そのために、介護予防・日常生活支援総合事業の利用については、利用目的を明確にし、運動機能の維持・向上を目的とした効果的な実施メニューを準備して、個々の状況に応じた機能向上に取り組んだ。

その結果、利用者の利用者の要支援状態の維持・改善の割合が一定以上となった成果として、次年度事業所評価加算を取得できたことは評価できる。

なお、日常生活上の支援及び機能訓練の実施に際しては、機能訓練指導員を中心に生活相談員、看護・介護職員の連携を密にして、利用当初の身体状況などを把握し、サービス提供記録に基づき定期的に評価を実施し、在宅生活の自立及び介護予防に取り組んだ。次年度も引き続き、利用目的を明確にし、運動機能の維持・向上を目的とした効果的な実施メニューを準備して、個々の状況に応じた機能向上に取り組んでいく。

9 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

利用者の生命の安全確保のため、センターの防火・防災対策はもとより、職員一人一人の防災・防火意識の高揚と火災・災害を想定した避難救出訓練の実践強化を図るため、年間計画に基づき消火・避難訓練を年6回、地震・水害避難訓練を年1回実施した。地震・水害避難訓練については、赤穂市立塩屋小学校まで避難し、有事の際に利用者が確実に避難できるよう努めた。次年度も、年間計画に基づいた訓練を実施するとともに、地域住民の協力を得ながら実施するように努める。

【訓練実施結果】

令和4年 4月26日	消火・避難訓練
6月25日	消火・避難訓練
8月22日	消火・避難訓練

10月26日	消火・避難訓練
12月3日	地震・水害避難訓練
12月24日	消火・避難訓練
令和5年 2月22日	消火・避難訓練

## 10 利用者の介護・接客サービス

当センターでは利用者のみならず、その家族（介護者）のニーズをも包括した付加価値の高い以下のサービスを提供し、地域から信頼される施設を目指した。

### ① 生活相談

利用者とその家庭生活に視点をおき、状態に合わせた個別援助計画の策定とそれに基づいたサービスの提供、また、やさしい言葉遣いと親しみやすい態度で利用者及びその家族との日々の連絡・相談により信頼関係の確立に努めた。また、担当者会議の場を活用し、情報報の共有化を図り、適切なサービス提供に取り組んだ。

次年度も引き続き、利用者とその家庭生活に視点をおき、家族等と連携を取りながら適切なサービス提供に取り組んでいく。

### ② 機能訓練

機能訓練指導員を中心に個別援助計画に基づいた効果的な各種の集団・個別リハビリ指導、日常動作訓練等、介護予防を念頭に実施し、利用者が在宅生活をより自立して継続できるよう援助した。そのために、機能訓練指導員等が利用者の居宅を訪問して得た情報を基に、赤穂記念病院の理学療法士と共同で利用者のアセスメントを行い、個別機能訓練計画を作成し、その後3か月ごとに利用者の居宅を訪問した上で、利用者、又はその家族に対して、機能訓練の内容と個別機能訓練計画の進捗状況等を説明し、訓練内容の見直し等を行っていった。

その結果、介護予防・日常生活支援総合事業において利用者の利用者の要支援状態の維持・改善の割合が一定以上となった成果として、次年度から事業所評価加算が取得できるようになったことは評価できる。次年度も引き続き、利用者が在宅生活をより自立して継続できるよう、機能訓練を通して援助する。

### ③ 介護サービス

くつろげる雰囲気の中で休養していただき、心身ともに健康であるよう促がしと見守りに努めるとともに、食事・入浴・排泄は、ADLの状況に応じた個別援助計画（サービス確認書）の周知徹底と転倒等の事故防止にも万全を期した。次年度も引き続き、利用者のADLに応じた適正なサービスを提供した。

### ④ 健康チェック

問診をはじめ、細心の観察力を養い血圧・検温等のバイタルチェックを実施し、身体の状態を把握して健康管理へのアドバイスを行なうとともに、主治医等に受診を促がし、疾病の早期発見・早期治療に努めた。また、感染症の多発時期（インフルエンザ・ノロウイルスなど）及び転倒・骨折が多発する冬季に向けて、注意を喚起するため文書を配布するなど、感染予防に積極的に取り組んだ。次年度も引き続き、利用者の心身の状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療に努めていく。

新型コロナウイルス対策として、利用者には注意喚起を行い、やすらぎ利用前の体温測定を依頼した。また、迎え時にも体温測定を実施し、センター玄関に設置した顔認証温度検知システムで、利用者、職員、来所者全員に検温を実施するなど、熱発者の早期発見に努めた。熱発者に対しては、受診を促した。施設内においては、来所持の手指消毒の徹底や、2時間おきの施設内の換気を実施し、施設内の備品等の消毒を徹底した。

### ⑤ 送迎

送迎は、安全・快適を最優先とし、車への乗降時の介助・走行中の車酔い・座席からの転落等には添乗員を配置することで万全を期す。また、送迎時の場所の確保と利用者の状態に応じて車椅子専用車両での送迎に努めた。

次年度も引き続き、安全・快適な送迎を実施していく。

### ⑥ 入浴

健康状態をチェックして安全な入浴に配慮するとともに、身嗜み・清潔保持の自立への支援の機会として取り組んだ。特に、心身ともに疲れを癒すような入浴ができるよう雰囲気づくりに努めるため、入浴時間や介助のあり方については、利用者の希望に応じた対応に努めた。

また、皮膚疾患等の早期発見の場面としても捉え、異常があれば介護職員と看護職員との連携により、家族への連絡も積極的に実施した。次年度も引き続き、心身ともに疲れを癒すような入浴を提供していく。

### ⑦ 食事

利用者の嗜好と食生活を考慮し、楽しみある食事とするため、食事サービス委員会を中心として、年4回（令和4年8月16日、11月17日、令和5年1月13日、3月7日）の嗜好調査を実施し、個別嗜好の結果を踏まえ、献立への反映に取り組んだ。また、利用者の身体状況に応じ、代替食や咀嚼の状況に応じた食事形態の提供に努めた。

次年度も引き続き、旬の食材・適温・食事形態の工夫により、より満足いただける食事の提供に取り組む。

## 11 行事企画及び個別嗜好の充実

社会的交流の支援、趣味・嗜好の充足及び心身の機能回復・減退防止を図り、楽しみとしてある通所介護とするため、季節行事等を取り入れたことで、利用者により楽しんでいただくことができた。

また、ボランティアの積極的な導入により、多様な個別嗜好の充足を図ったことで、行事運営の充実を図ることができた。

次年度も引き続き、利用者が楽しんでいただける行事を企画していく。

《令和4年度行事》

実施月	プログラム(午前中)	実施月	プログラム(午前中)
令和4年 4月	開所記念行事、バスハイク（お花見） カレンダー作り、誕生会	10月	レクゲーム、室内運動会 カレンダー作り、誕生会

5月	レクゲーム、料理教室 カレンダー作り、誕生会	11月	レクゲーム、料理教室 カレンダー作り、誕生会
6月	レクゲーム、創作活動 カレンダー作り、誕生会	12月	忠臣蔵大会、クリスマス、忘年会、餅つき カレンダー作り、誕生会
7月	七夕祭り、レクゲーム カレンダー作り、誕生会	令和5年 1月	新年会、新春カルタ、すごろく、福笑い カレンダー作り、誕生会
8月	夏祭り（盆踊り）、創作活動 カレンダー作り、誕生会	2月	節分行事、バレンタイン カレンダー作り、誕生会
9月	敬老会、レクゲーム カレンダー作り、誕生会	3月	ひな祭り行事、レクゲーム カレンダー作り、誕生会

※ 楽しみ作りの一環として、また、リハビリの実践の場として個別外出を随時実施した。

# 令和4年度 事業報告書

認知症対応型デイサービスセンターやすらぎ (定員 12名)				
稼働状況		令和4年度	令和3年度	前年度対比
	実績稼働率	60.17%	67.21%	-7.04%
	目標稼働率	70.00%	70.00%	-
	差異	-9.83%	-2.79%	-
	年間延べ利用人数	2,225人	2,447人	-222人
	平均要介護度	1.57	1.84	-0.27
重点項目	① 第4期経営5か年計画(4年目)の推進 ② 利用者の確保及び在宅介護の支援 ③ 個別援助計画に基づく自立支援及び専門的サービスの提供 ④ 人材養成の積極的展開 ⑤ 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携 ⑥ 感染症対策の強化 ⑦ 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施 ⑧ 運営推進会議の効果的運用 ⑨ 認知症カフェの効果的運用 ⑩ 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化			
総括	<p>本年度の事業運営状況は、定員12名、年間運営日数302日、年間延べ利用人員2,225人(認知症対応型2,225人、介護予防人)で前年度比222人の減となり、定員に対する稼働率60.17%で前年度比7.04%の減、平均要介護度1.57で前年度比0.27ポイントの減であり、予算を達成することはできなかった。</p> <p>また、介護予防(要支援1、2)の登録人員は0名であった。</p> <p>⑥ 感染症対策の強化 (デイサービスセンターやすらぎ事業報告6に準ずる)</p> <p>⑧ 運営推進会議の効果的運用 本年度の運営推進会議において、新型コロナウイルス感染拡大予防等の観点から、赤穂市介護保険係より本年度も運営推進会議の開催を延期してほしいとの依頼があったが、オンラインでの開催(第1回令和4年9月26日、第2回令和5年3月3日)を行った。 しかし、運営推進会議は、当センター(認知症対応型通所介護)のサービスの現状を委員に報告し、サービスに対する指導・助言及び地域の高齢者福祉ニーズに対する意見の把握にもつながり、その内容を当センターのサービスに反映させることでサービスの質の向上に努め、会議を通じて認知症対応型通所介護事業所としての専門性をより広く地域にアピールできる場である。そのため、次年度は、赤穂市における認知症に罹患されている要支援・要介護者が通所介護施設を利用する場合、適正にコーディネートされるための方法を議論していく等、本来の目的が達成できるようにしていく必要がある。</p> <p>⑨ 認知症カフェの効果的運用 地域貢献事業の一環として、認知症の人やその家族、地域の人など誰もが気軽に参加できる「集いの場」として、情報交換するだけでなく、医療や介護の専門職が指導・助言することにより、認知症の人やその家族が、在宅や地域で安心して生活できるように支援していくことを目的とした「認知症カフェ」を開催し、本年度は延19日、参加者44名の利用があった。 次年度は広報活動に重点を置き、地域の方に利用してもらえるようにしていくとともに、利用された方が満足していただけるよう委員会において検討していく必要がある。</p>			

令和4年度

# 事業報告書

認知症対応型デイサービスセンターやすらぎ

## 《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

## 《重点項目》

- ① 第4期経営5か年計画（4年目）の推進
- ② 利用者の確保及び在宅介護の支援
- ③ 個別援助計画に基づく自立支援及び専門的サービスの提供
- ④ 人材養成の積極的展開
- ⑤ 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携
- ⑥ 感染症対策の強化
- ⑦ 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施
- ⑧ 運営推進会議の効果的運用
- ⑨ 認知症カフェの効果的運用
- ⑩ 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

本年度は、当法人の基本理念に基づき第4期経営5か年計画の（4年目）として、以下の事業を取組むとともに、桜谷荘季節行事等へも参画し、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

事業運営状況は、定員12名、年間運営日数302日、年間延べ利用人員2,225人（認知症対応型2,225人、介護予防0人）で前年度比222人の減となり、定員に対する稼働率60.17%で前年度比7.04%の減、平均要介護度1.57で前年度比0.27ポイントの減であり、予算達成することはできなかった。

また、介護予防（要支援1、2）の登録人員は0名であった。

### 《四半期毎の利用状況》

第1四半期（04月～06月）：	64.32%
第2四半期（07月～09月）：	63.09%
第3四半期（10月～12月）：	58.69%
第4四半期（01月～03月）：	54.57%

## 1 第4期経営5か年計画（4年目）の推進

（デイサービスセンターやすらぎ事業報告1に準ずる）

## 2 利用者の確保及び在宅介護の支援

本年度は、認知症対応型通所介護事業所として通所介護事業所の他事業所との差別化を図るために、サービス検討委員会にて利用者の意向調査によるサービスメニュー開発に向けての検討や提供方法、サービスの質の向上を図るための検討を行ったが、認知症対応型通所介護事業所としての「売りとなるサービス」とまでは至らなかった。

よって、次年度は認知症対応型通所介護事業所としての「売りとなるサービス」を確立させ、事業所の特徴を各居宅介護支援事業所にアピールすることで新規利用者確保につなげていきたい。

また、利用者個々の認知症状に応じて、脳トレを中心とした認知症進行予防に効果的なメニュー（音読・計算・書写・間違い探し・記憶力ゲーム等）を提供したほか、脳トレ等の実施過程において利用者に対し「良い評価」を行うことで「達成感」を感じてもらえるように取り組んだ結果、利用者のやりがいにつながっただけではなく、職員との人間関係が構築されたことで利用者が当センターにおいて安心し、落ち着いて過ごせる「居場所作り」につながった。また、脳トレ等を実施した評価について、「認知症の進行予防」と「交流支援」の視点で評価ができるように実施記録の様式を策定し、利用毎に家族や介護者に対して状況報告及び実施に係る「まとめの報告」（2回/年）を行った。

その結果、「家に帰って家族と一緒に、積極的に外出するようになった」等の状態変化に対する評価が得られるなど、在宅介護支援として大きく役割を果たすことができた。次年度も引続き、利用者個々の認知症状に応じた認知症予防プログラムを提供し、取り組みの評価を家族にフィードバックしていく。

## 3 個別援助計画に基づく自立支援及び専門的サービスの提供

個別援助計画に基づくサービスを提供するため、個別援助計画と連動させたサービス確認書（個別のサービス実施予定表）を活用し、個別性の高いサービスの提供とサービスの抜落ち防止に努めた。また、ケース検討委員会・ミーティングの場を活用してモニタリングを実施し、その内容を日々のサービスに反映させた。次年度も引続き、ほのぼのシステムを活用してのサービス提供及びモニタリングを実施することでサービスの質の向上に取り組んでいく。

また、本年度は個別援助計画に基づく自立支援及び認知症予防を踏まえた専門的サービスの提供をしていくために、認知症の専門研修（認知症介護実践者研修、4DAS研修等）を受講した職員が事業所内研修会の講師となり、専門的な



知識・技術について講義及び OJT 研修を实践した。

次年度は、他の職員についても認知症の専門研修を受講し、科学的根拠に基づいたサービスを提供していく。

4 人材養成の積極的展開

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告 4 に準ずる)

5 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告 5 に準ずる)

6 感染症対策の強化

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告 6 に準ずる)

7 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告 7 に準ずる)

8 運営推進会議の効果的運用

本年度の運営推進会議において、新型コロナウイルス感染拡大予防等の観点から、赤穂市介護保険係より本年度も運営推進会議の開催を延期してほしいとの依頼があったが、オンラインでの開催（第 1 回令和 4 年 9 月 26 日、第 2 回令和 5 年 3 月 3 日）を行った。

しかし、運営推進会議は、当センター（認知症対応型通所介護）のサービスの現状を委員に報告し、サービスに対する指導・助言及び地域の高齢者福祉ニーズに対する意見の把握にもつながり、その内容を当センターのサービスに反映させることでサービスの質の向上に努め、会議を通じて認知症対応型通所介護事業所としての専門性をより広く地域にアピールできる場である。そのため、次年度は、赤穂市における認知症に罹患されている要支援・要介護者が通所介護施設を利用する場合、適正にコーディネートされるための方法を議論していく等、本来の目的が達成できるようにしていく必要がある。

9 認知症カフェの効果的運用

地域貢献事業の一環として、認知症の人やその家族、地域の人など誰もが気軽に参加できる「集いの場」として、情報交換するだけでなく、医療や介護の専門職が指導・助言することにより、認知症の人やその家族が、在宅や地域で安心して生活できるように支援していくことを目的とした「認知症カフェ」を開催し、本年度は延 19 日、参加者 44 名の利用があった。

次年度は広報活動に重点を置き、地域の方に利用してもらえるようにしていくとともに、利用された方が満足していただけるよう委員会において検討していく必要がある。

10 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告 9 に準ずる)

11 利用者の介護・接客サービス

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告 10 に準ずる)

12 行事企画及び専門的対応

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告 11 に準ずる)

プログラムの実施状況

実施年月日	プログラム名・内容	
	通所介護	認知症対応型通所介護
4. 4. 1 ~ 4 7	お花見 (外出)	お花見 (外出)
4. 1	輪投げ大会	輪投げ大会
4. 2	スリッパとばし	スリッパとばし
4. 4	ストロー集めゲーム	ストロー集めゲーム
4. 6 ~ 4. 13	創作活動 (鯉のぼりの壁画)	創作活動 (鯉のぼりの壁画)
4. 11	誕生会	誕生会
4. 14	誕生会	誕生会
4. 15	スリッパとばし	スリッパとばし
4. 16	輪投げ大会	輪投げ大会
4. 18	ストロー集めゲーム	ストロー集めゲーム
4. 19	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
4. 20	スリッパとばし	スリッパとばし
4. 21	輪投げ大会	輪投げ大会
4. 22	足で色集めゲーム	足で色集めゲーム
4. 25	輪投げ大会	輪投げ大会
4. 26	スリッパとばし	スリッパとばし
4. 27	足で色集めゲーム	足で色集めゲーム
4. 28	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
4. 29	ストロー集めゲーム	ストロー集めゲーム
4. 30	足で色集めゲーム	足で色集めゲーム
5. 2	明日、天気になーれゲーム	明日、天気になーれゲーム
5. 2 ~ 5. 14	個別外出 (民俗資料館)	個別外出 (民俗資料館)
5. 3	積み上げろ! ペーパー芯ピラミッド	積み上げろ! ペーパー芯ピラミッド
5. 4	脳トレ! しりとりカードゲーム	脳トレ! しりとりカードゲーム
5. 5	やすらぎ大ビンゴゲーム大会	やすらぎ大ビンゴゲーム大会
5. 6	ロープ送りゲーム	ロープ送りゲーム
5. 9	積み上げろ! ペーパー芯ピラミッド	積み上げろ! ペーパー芯ピラミッド
5. 10	脳トレ! しりとりカードゲーム	脳トレ! しりとりカードゲーム
5. 11	ロープ送りゲーム	ロープ送りゲーム
5. 12	明日、天気になーれゲーム	明日、天気になーれゲーム
5. 13	積み上げろ! ペーパー芯ピラミッド	積み上げろ! ペーパー芯ピラミッド
5. 14	脳トレ! しりとりカードゲーム	脳トレ! しりとりカードゲーム
5. 16 ~ 5. 21	カレンダー作り	カレンダー作り
5. 20	誕生会	誕生会
5. 18 ~ 6. 9	個別外出 (ル・フレ)	個別外出 (ル・フレ)
5. 23 ~ 5. 27	創作活動 (紫陽花の壁画)	創作活動 (紫陽花の壁画)
5. 28	誕生会	誕生会
5. 30	脳トレ! しりとりカードゲーム	脳トレ! しりとりカードゲーム
5. 31	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
6. 1	牛乳タワーゲーム	牛乳タワーゲーム
6. 2	てるてる坊主つるしゲーム	てるてる坊主つるしゲーム
6. 3	何が書かれている? 文字パズル	何が書かれている? 文字パズル
6. 4	牛乳タワーゲーム	牛乳タワーゲーム
6. 6	てるてる坊主つるしゲーム	てるてる坊主つるしゲーム
6. 7	誕生会	誕生会
6. 8 ~ 6. 14	創作活動 (花火の壁画)	創作活動 (花火の壁画)
6. 14 ~ 7. 2	個別外出 (加里屋旅館Q)	個別外出 (加里屋旅館Q)
6. 15	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
6. 16	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
6. 17	てるてる坊主つるしゲーム	てるてる坊主つるしゲーム
6. 18	何が書かれている? 文字パズル	何が書かれている? 文字パズル
6. 20 ~ 6. 25	カレンダー作り	カレンダー作り
6. 27	牛乳タワーゲーム	牛乳タワーゲーム
6. 28	てるてる坊主つるしゲーム	てるてる坊主つるしゲーム
6. 29	何が書かれている? 文字パズル	何が書かれている? 文字パズル
6. 30	牛乳タワーゲーム	牛乳タワーゲーム
7. 1	お箸でつまんでキャップポイポイ	お箸でつまんでキャップポイポイ

実施年月日	プログラム名・内容	
	通所介護	認知症対応型通所介護
4. 7. 2	魚釣りゲーム	魚釣りゲーム
7. 4	輪投げゲーム大会4	輪投げゲーム大会4
7. 5	お箸でつまんでキャップポイポイ	お箸でつまんでキャップポイポイ
7. 7	七夕行事	七夕行事
7. 8	誕生会	誕生会
7. 9	輪投げゲーム大会	輪投げゲーム大会
7. 11	誕生会	誕生会
7. 11 ~ 7. 30	個別外出 (田淵記念館)	個別外出 (田淵記念館)
7. 12	魚釣りゲーム	魚釣りゲーム
7. 13	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
7. 14	誕生会	誕生会
7. 15	輪投げゲーム大会	輪投げゲーム大会
7. 16	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
7. 18	魚釣りゲーム	魚釣りゲーム
7. 19	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
7. 20	誕生会	誕生会
7. 21	お箸でつまんでキャップポイポイ	お箸でつまんでキャップポイポイ
7. 22	魚釣りゲーム	魚釣りゲーム
7. 23	誕生会	誕生会
7. 25	お箸でつまんでキャップポイポイ	お箸でつまんでキャップポイポイ
7. 26	誕生会	誕生会
7. 27	輪投げゲーム大会	輪投げゲーム大会
7. 28	かき氷	かき氷
7. 29	お箸でつまんでキャップポイポイ	お箸でつまんでキャップポイポイ
7. 30	魚釣りゲーム	魚釣りゲーム
8. 1	魚釣りゲーム	魚釣りゲーム
8. 2	やすらぎ夏祭り	やすらぎ夏祭り
8. 3	風船バレー	風船バレー
8. 4	やすらぎ夏祭り	やすらぎ夏祭り
8. 5	スリッパとばしゲーム	スリッパとばしゲーム
8. 6	やすらぎ夏祭り	やすらぎ夏祭り
8. 8	誕生会	誕生会
8. 9	夏の神経衰弱	夏の神経衰弱
8. 10	魚釣りゲーム	魚釣りゲーム
8. 11	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
8. 12	風船バレー	風船バレー
8. 13	スリッパとばしゲーム	スリッパとばしゲーム
8. 15 ~ 8. 19	創作活動 (鶴と亀)	創作活動 (鶴と亀)
8. 20	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
8. 22 ~ 8. 27	嗜好調査	嗜好調査
8. 23	誕生会	誕生会
8. 25	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
8. 26	誕生会	誕生会
8. 29	風船バレー	風船バレー
8. 30	魚釣りゲーム	魚釣りゲーム
8. 31	夏の神経衰弱	夏の神経衰弱
8. 31 ~ 9. 16	個別外出 (喫茶店ハノン)	個別外出 (喫茶店ハノン)
9. 1	お月見ゲーム	お月見ゲーム
9. 2	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
9. 3	風船バレー	風船バレー
9. 5	やすらぎっくアウトゲーム	やすらぎっくアウトゲーム
9. 6	風船バレー	風船バレー
9. 7	お月見ゲーム	お月見ゲーム
9. 8	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
9. 9	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
9. 10	やすらぎっくアウトゲーム	やすらぎっくアウトゲーム
9. 12 ~ 9. 17	創作活動 (壁画作り)	創作活動 (壁画作り)
9. 15	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
9. 19	風船バレー	風船バレー

実施年月日	プログラム名・内容	
	通所介護	認知症対応型通所介護
4. 9. 20	お月見ゲーム	お月見ゲーム
9. 21	やすらぎつくアウトゲーム	やすらぎつくアウトゲーム
9. 22	職員演芸大会	職員演芸大会
9. 23	巻き寿司	巻き寿司
9. 24	誕生会	誕生会
9. 26 ~ 9. 30	カレンダー作り	カレンダー作り
9. 28	かき氷	かき氷
9. 29	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
9. 30	誕生会	誕生会
9. 28 ~ 10. 17	個別外出 (TETE)	個別外出 (TETE)
10. 1	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
10. 3 ~ 10. 8	秋の音楽教室	秋の音楽教室
10. 10 ~ 10. 15	創作活動 (紙コップのバスケット)	創作活動 (紙コップのバスケット)
10. 13	誕生会	誕生会
10. 17 ~ 10. 22	カレンダー作り	カレンダー作り
10. 24 ~ 10. 29	ミニミニ運動会	ミニミニ運動会
10. 27	やすらぎ大運動会	やすらぎ大運動会
10. 21 ~ 12. 21	個別外出 (桃井ミュージアム)	個別外出 (桃井ミュージアム)
10. 28	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
11. 1 ~ 11. 5	秋の音楽教室	秋の音楽教室
11. 7 ~ 11. 12	神経衰弱ゲーム	神経衰弱ゲーム
11. 14 ~ 11. 19	嗜好調査	嗜好調査
11. 16	誕生会	誕生会
11. 21	誕生会	誕生会
11. 22 ~ 11. 25	カレンダー作り	カレンダー作り
11. 26	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
11. 28 ~ 11. 30	風船バレー	風船バレー
12. 1	クリスマス」ツリー飾りつけ	クリスマス」ツリー飾りつけ
12. 2	神経衰弱ゲーム	神経衰弱ゲーム
12. 3	冬の音楽教室	冬の音楽教室
12. 5 ~ 12. 10	創作活動 (お正月の壁画)	創作活動 (お正月の壁画)
12. 12	冬の音楽教室	冬の音楽教室
12. 13	〇〇釣りゲーム	〇〇釣りゲーム
12. 14	個別外出 (義士祭)	個別外出 (義士祭)
12. 15	神経衰弱ゲーム	神経衰弱ゲーム
12. 16	誕生会	誕生会
12. 17	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
12. 19 ~ 12. 24	カレンダー作り	カレンダー作り
12. 20	クリスマスビンゴゲーム大会	クリスマスビンゴゲーム大会
12. 22	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
12. 26	〇〇釣りゲーム	〇〇釣りゲーム
12. 27	神経衰弱ゲーム	神経衰弱ゲーム
12. 28 ~ 12. 29	年末の挨拶	年末の挨拶
5 1. 5 ~ 1. 6	新年の挨拶	新年の挨拶
1. 7	風船バレー	風船バレー
1. 9 ~ 1. 14	健康のお話し	健康のお話し
1. 16	誕生会	誕生会
1. 17 ~ 1. 21	冬の神経衰弱	冬の神経衰弱
1. 23 ~ 1. 27	カレンダー作り	カレンダー作り
1. 26	誕生会	誕生会
1. 28	誕生会	誕生会
1. 30 ~ 1. 31	風船バレー	風船バレー
2. 1	風船バレー	風船バレー
2. 2	節分行事	節分行事
2. 3	早口言葉	早口言葉
2. 4	やすらぎタワーゲーム	やすらぎタワーゲーム
2. 6	早口言葉	早口言葉
2. 7	風船バレー	風船バレー
2. 8	やすらぎタワーゲーム	やすらぎタワーゲーム

実施年月日	プログラム名・内容	
	通所介護	認知症対応型通所介護
5. 2. 9	風船バレー	風船バレー
2. 10	やすらぎタワーゲーム	やすらぎタワーゲーム
2. 11	誕生会	誕生会
2. 13	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
2. 14 ~ 2. 15	早口言葉	早口言葉
2. 16 ~ 2. 17	やすらぎタワーゲーム	やすらぎタワーゲーム
2. 18	風船バレー	風船バレー
2. 20 ~ 2. 24	カレンダー作り	カレンダー作り
2. 21	誕生会	誕生会
2. 25	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
2. 27	風船バレー	風船バレー
2. 28 ~ 3. 1	やすらぎタワーゲーム	やすらぎタワーゲーム
3. 2	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
3. 3	釣りゲーム	釣りゲーム
3. 4	動物カルタ	動物カルタ
3. 6 ~ 3. 11	創作活動（壁画作り）	創作活動（壁画作り）
3. 9	鉄板料理（お好み焼き）	鉄板料理（お好み焼き）
3. 9	お誕生会	お誕生会
3. 14	やすらぎタワーゲーム	やすらぎタワーゲーム
3. 15	釣りゲーム	釣りゲーム
3. 16	動物カルタ	動物カルタ
3. 17	やすらぎタワーゲーム	やすらぎタワーゲーム
3. 18	釣りゲーム	釣りゲーム
3. 20 ~ 3. 25	カレンダー作り	カレンダー作り
3. 21	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
3. 27 ~ 3. 31	お花見ツアー	お花見ツアー
3. 28 ~ 3. 29	お誕生会	お誕生会

令和4年度

# 職員研修実施状況

## 1 施設内研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	講 師 名
4.	4. 5	(事業所研修) 令和4年度事業計画説明会／基本理念説明	水田主任介護支援専門員
	5. 19. 20	「自立支援に基づく移動介助」について	川端介護員
	6. 15. 20	「食中毒」について	岡嶋栄養士
	7. 15. 16	「高齢者虐待」について	山根介護員
	8. 26. 27	「緊急時対応」について	長谷機能訓練指導員
	9. 21. 22	「人権擁護に基づいた認知症の理解」について	片上介護員
	10. 19. 20	「基本理念」について	小川主任看護員
	11. 21. 23	「サービス自己評価」について	金谷生活相談員
	12. 8. 9	「感染症発生時業務継続計画」について (実地訓練)	小川主任看護員
5.	1. 25. 27	「接客・接遇」について	谷口生活相談員
	2. 22. 24	「人権侵害防止」について	施設長
	3. 20. 25	「事例検討」について	梅田介護員

## 2 施設外研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	実 施 場 所
4.	4. 16	予算説明会 幹部職員	桜谷荘
	6. 28	兵庫県老人福祉事業協会 総会 鳴瀧施設長	兵庫県福祉センター
	11. 17	病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修 小川主任看護員	リモート
5.	3. 29	兵庫県老人福祉事業協会 総会 鳴瀧施設長	兵庫県福祉センター

## 各委員会開催状況

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
4 . 4 . 5		1 職員会議 *施設事業計画説明会（概要）
5 . 1 . 4		*交礼会
2 . 23		*各種規程の変更説明
3 . 31		*辞令交付
4 . 4 . 16		2 経営会議 *予算書の実方、予算執行状況、課題への対応状況ほか
7 . 23		*予算執行状況、課題への対応状況ほか
11 . 5		*予算執行状況、課題への対応状況ほか
4 . 2 . 25		*予算執行状況、課題への対応状況、次年度への課題と対応策
4 . 4 . 20		3 施設長会議 *基本理念の周知徹底方法、事業計画・各委員会の進め方、各事業所運営上の課題・問題点ほか
7 . 30		*基本理念の周知徹底方法、事業計画・各委員会の進め方、各事業所運営上の課題・問題点ほか
11 . 12		*事業計画・各委員会の進め方、各事業所運営上の課題・問題点ほか
5 . 2 . 25		*基本理念の周知徹底方法、事業計画・各委員会の進め方、各事業所運営上の課題・問題点、次年度への課題と対応策ほか
4 . 5 . 6		4 合同幹部会 *令和3年度事業報告について
5 . 7		*令和3年度事業報告について
5 . 2 . 6		*令和5年度事業の事業計画について
2 . 10		*令和5年度事業の事業計画について
4 . 5 . 31		5 経営計画検証委員会・策定委員会 *委員会の活動趣旨・活動内容の意識統一、年間活動計画の策定ほか
7 . 26		*4年目の1/4半期進捗状況の検証ほか
10 . 22		*4年目の2/4半期進捗状況の検証ほか
4 . 1 . 28		*4年目の3/4半期進捗状況の検証ほか
3 . 18		*4年目の4/4半期進捗状況の検証、年間まとめ、次年度への課題ほか
4 . 5 . 26		6 コンプライアンス委員会 *趣旨・活動内容、年間活動計画の策定、LIFEに係る個別加算取得計画について
7 . 19		*日常点検実施後の検証ほか、LIFEに係る個別加算取得状況の検証
10 . 18		*日常点検実施後の検証ほか、LIFEに係る個別加算取得状況の検証
5 . 1 . 10		*日常点検実施後の検証ほか、LIFEに係る個別加算取得状況の検証
3 . 23		*日常点検実施後の検証ほか、LIFEに係る個別加算取得状況の検証、年間まとめ、次年度への課題ほか
4 . 5 . 28		7 委員長会議 *各委員会活動主旨、年間カリキュラムについて
9 . 24		*各委員会の進捗状況及び年度半ばの反省・課題の抽出
5 . 2 . 28		*各委員会、令和3年度の反省と課題
4 . 9 . 26		8 やすらぎ運営推進会議 *やすらぎ活動状況の報告ほか（オンライン）
5 . 3 . 3		*やすらぎ活動状況の報告ほか（オンライン）

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
4.	4. 28	9 認知症カフェ検証委員会 * 委員会の趣旨目的、委員会活動計画、認知症カフェの検証について
	5. 30	* 認知症カフェの取組について
	6. 28	* 認知症カフェの取組について
	7. 30	* 認知症カフェの取組について
	8. 30	* 認知症カフェの取組について
	9. 14	* 認知症カフェの取組について
	10. 31	* 認知症カフェの取組について
	11. 8	* 認知症カフェの取組について
	11. 19	* 認知症カフェの取組について
	11. 28	* 認知症カフェの取組について
5.	1. 30	* 認知症カフェの取組について
	2. 27	* 認知症カフェの取組について
	3. 27	* 認知症カフェの取組について
		10 サービス検討委員会
4.	4. 28	* 各委員会活動主旨、年間カリキュラムについて
	5. 24	* 提供プログラムの評価・課題について
	6. 28	* 課題の改善策について
	7. 26	* 改善策の実施状況について
	8. 30	* 新規提供プログラムについて
	9. 24	* 新規提供プログラムについて
	10. 24	* 新規提供プログラムの実施状況について
	11. 28	* 提供プログラムの評価・課題について
	12. 26	* 課題の改善策について
5.	1. 28	* 課題の改善策について
	2. 28	* 改善策の実施状況について
	3. 24	* 年度反省
		11 サービス評価委員会
4.	4. 14	* 各委員会活動主旨、年間カリキュラムについて
	5. 15	* 三者評価課題の進捗について
	7. 9	* 満足度調査について
	8. 29	* 第三者評価課題の進捗について
	10. 8	* 満足度調査について
	10. 15	* 自己評価実施について
	11. 5	* 自己評価集計について
	12. 1	* 集計結果からの課題について
	. 20	* 集計結果からの課題について
5.	1. 12	* 課題に対する改善策について
	2. 9	* 課題に対する改善策について
	3. 9	* 課題に対する改善策について
		12 ケース検討委員会
4.	4. 9	* 委員会活動主旨、議事録、役割分担、ケース検討（10名）について
	5. 7	* ケース検討（7名）
	5. 12	* ケース検討（4名）
	6. 2	* ケース検討（5名）
	7. 12	* ケース検討（5名）
	8. 11	* ケース検討（4名）
	9. 8	* ケース検討（5名）
	10. 8	* ケース検討（2名）
	11. 3	* ケース検討（5名）
	12. 6	* ケース検討（3名）
5.	1. 10	* ケース検討（5名）
	2. 25	* ケース検討（1名）
	3. 16	* ケース検討（1名）



開 年	催 月	日	活 動 内 容
			13 研修委員会
4.	4.	7	*年間活動主旨・年間プログラム・役割分担について
	5.	16	*5月度の研修について・前回の反省
	6.	10	*6月度の研修について・前回の反省
	7.	20	*7、8月度の研修について・前回の反省
	8.	13	*9月度の研修について・前回の反省
	9.	12	*10月度の研修について・前回の反省
	10.	15	*11月度の研修について・前回の反省
	11.	19	*12月度の研修について・前回の反省
	12.	5	*1月度の研修について・前回の反省
5.	1.	14	*2月度の研修について・前回の反省
	2.	13	*3月度の研修について・前回の反省
	3.	13	*4月度の研修について・前回の反省・年度反省
			14 広報委員会
4.	4.	12	*年間活動主旨、年間活動計画について
	5.	6	*おかげさんについて
	6.	9	*おかげさんについて
	7.	11	*おかげさん、アルバム作成について
	8.	10	*おかげさんについて
	9.	12	*おかげさんについて
	10.	13	*おかげさんについて
	11.	15	*おかげさんについて
	12.	16	*おかげさんについて
5.	1.	10	*おかげさんについて
	2.	10	*おかげさんについて
	3.	11	*おかげさんについて、令和4年度に向けて
			15 行事委員会
4.	4.	11	*年間活動主旨、カリキュラム・役割分担、5月の行事について
	5.	11	*6月の企画、4月の行事の反省について
	6.	16	*7月の企画、5月の行事の反省、8月夏祭りについて
	7.	16	*8月の企画、6月の行事の反省、夏祭り、敬老会について
	8.	12	*9月の企画、7月の行事の反省、夏祭り反省、敬老会について
	9.	12	*10月の企画、8月の行事の反省、料理教室、やすらぎ運動会について
	10.	22	*11月の企画、9月の行事の反省について
	11.	15	*12月の企画、10月の行事の反省について
	12.	13	*1月の企画、11月の行事の反省について
5.	1.	10	*2月の企画、12月の行事の反省、年度反省について
	2.	15	*3月の企画、1月の行事の反省について
	3.	16	*4月の企画、2月の行事の反省、来年度の課題について
			16 食事サービス委員会
4.	7.	11	*年間活動カリキュラム・役割分担、第1回嗜好調査について
	11.	21	*敬老会食事について、第2回嗜好調査、夏祭り食事反省について
	11.	25	*食事内容について、第2回嗜好調査反省、手作り料理について
5.	3.	29	*食事内容について、第4回嗜好調査結果、一年間の反省について
			17 感染症対策委員会
4.	4.	19	*委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について
	8.	25	*マニュアル作成について
	9.	6	*マニュアル作成について、研修の進め方等の検証
	11.	28	*マニュアルの確認、12月の職員研修（訓練）に向けて
5.	1.	7	*マニュアルの見直しについて
	3.	13	*マニュアルの見直しについて、反省・まとめ

開 年 月 日	活 動 内 容
4. 5. 31	18 虐待防止委員会 *委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について *高齢者の虐待について *高齢者の虐待について *法人内事業所不適切ケアについて *法人内事業所不適切ケアについて *反省・まとめ、指針の見直しについて  19 労働安全衛生委員会 *委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について *安全パトロールの実施と検証 *安全パトロールの実施と検証 *安全パトロールの実施と検証 *安全パトロールの実施と検証 *反省・まとめ  20 厚生委員会 *未実施
7. 22	
12. 14	
5. 2. 17	
3. 23	
3. 29	
4. 5. 5	
6. 2	
8. 4	
10. 6	
12. 1	
5. 2. 2	

令和4年度

# ボランティア稼働実績

稼働年 月 日	活 動	内 容
4 . 4 . 19	行事支援ボランティア ( 1 名)	下野正嗣
28	行事支援ボランティア ( 1 名)	志波多門
5 . 7	行事支援ボランティア ( 8 名)	ウインド
31	行事支援ボランティア ( 10 名)	めだか
6 . 15	行事支援ボランティア ( 1 名)	下野正嗣
16	行事支援ボランティア ( 1 名)	志波多門
7 . 16	行事支援ボランティア ( 1 名)	中村グループ
25	行事支援ボランティア ( 1 名)	小西
8 . 11	行事支援ボランティア ( 1 名)	中岡
20	行事支援ボランティア ( 1 名)	志波多門
25	行事支援ボランティア ( 1 名)	下野正嗣
9 . 2	関福大学生ボランティア ( 3 名)	
9	関福大学生ボランティア ( 3 名)	
16	関福大学生ボランティア ( 3 名)	
29	行事支援ボランティア ( 1 名)	中岡
10 . 1	行事支援ボランティア ( 10 名)	めだか
20	行事支援ボランティア ( 1 名)	志波多門
28	行事支援ボランティア ( 1 名)	下野正嗣
11 . 26	行事支援ボランティア ( 1 名)	中岡
12 . 17	行事支援ボランティア ( 1 名)	下野正嗣
22	行事支援ボランティア ( 1 名)	志波多門
5 . 2 . 13	行事支援ボランティア ( 1 名)	下野正嗣
25	行事支援ボランティア ( 1 名)	志波多門
3 . 2	行事支援ボランティア ( 2 名)	長坂
21	行事支援ボランティア ( 1 名)	下野正嗣

・ 参加ボランティア : 9団体  
 ・ 延稼働回数 : 25 回  
 ・ 延稼働人数 : 56 人

令和4年度

## 見学・実習等受入れ状況

受入 年月日	摘 要	
4.9.1	介護等体験実習	関西福祉大学 北谷航輝 (～9.3)
	介護等体験実習	関西福祉大学 福永拓海 (～9.3)
	介護等体験実習	関西福祉大学 松田大輔 (～9.3)
	介護等体験実習	関西福祉大学 水谷風哉 (～9.3)
5	介護等体験実習	関西福祉大学 久斗萌花 (～9.9)
	介護等体験実習	関西福祉大学 栗林舞 (～9.9)
	介護等体験実習	関西福祉大学 神吉陽世 (～9.9)
	介護等体験実習	関西福祉大学 本田哉斗 (～9.9)
12	介護等体験実習	関西福祉大学 田中慎太郎 (～9.16)
	介護等体験実習	関西福祉大学 福家寛人 (～9.16)
	介護等体験実習	関西福祉大学 増本拓朗 (～9.16)
10.17	インターンシップ	上郡高等学校 児島知奈 (～10.20)





令和4年度

## 地域交流実施状況

交 流 年 月 日	交 流 内 容
	実績なし

令和4年度

## 介護相談事業実施状況

介 護 相 談 年 月 日	摘 要
	赤穂市により、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、 民生委員の介護相談事業が中止となる

# 令和4年度 事業報告書

やすらぎ居宅介護支援事業所						
稼働状況			令和4年度	令和3年度	前年度対比	
	介護	実績件数		136.5件	128.7件	7.8件
		目標件数		135件	135件	-
		差異		1.5件	-6.3件	-
	介護予防	実績件数		40.7件	46.1件	-5.4件
		目標件数		40件	40件	-
		差異		0.7件	6.1件	-
	合算	実績件数		156.8件	151.7件	5.1件
		目標件数		155件	155件	-
差異			1.8件	-3.3件	-	
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 第4期経営5か年計画（4年目）の推進</li> <li>② 地域の福祉ニーズに応じた公益的事業を推進する</li> <li>③ 在宅生活の継続的支援及び新規依頼者の確保</li> <li>④ 自立支援及び介護予防に向けたケアマネジメントの実践</li> <li>⑤ 地域包括支援センター・居宅サービス提供事業所・医療機関との連携</li> <li>⑥ 「介護予防・日常生活支援総合事業」の効果的な運用</li> <li>⑦ 人材養成の積極的展開</li> <li>⑧ 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施</li> <li>⑨ 感染症予防対策の強化及び災害時の対応</li> <li>⑩ 高齢者虐待防止に向けた対策</li> </ul>					
総括	<p>本年度の事業運営状況は、要介護状態の新規依頼件数及び再利用は年間74件で、入院・入所及び死亡や予防への変更等による減少件数は年間62件で年間の給付管理件数は前年度比94件の増であった。</p> <p>年間の給付管理件数は月平均136.5件で前年度比7.8件の増となった。</p> <p>介護予防における依頼件数は月平均40.7件で前年度比5.4件の減であったが、介護件数と共に予算は達成できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑧ 感染症予防対策の強化及び災害時の対応                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BCP（業務継続計画）の策定及び訓練（シミュレーション）の実施                                      法人本部が主催する業務継続計画策定委員会に参画し、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な居宅サービスが継続的に提供できる体制がとれるようにBCP（業務継続計画）の策定に取り組み、デイサービスセンターやすらぎと協働し、感染症発生時及び災害発生時の対応について、研修及び訓練（シミュレーション）に取り組んだ。次年度は策定したBCP（業務継続計画）をもとに研修及び訓練（シミュレーション）に取り組みたい。</li> <li>・ 感染症予防策の強化                                      感染症の発生・拡大・再発防止のため、感染症予防策の徹底や職員研修の実施により感染予防に努めた。感染経路の遮断（病原体を持ち込まない、持ち出さない、拡げない）においては、職員が訪問先で利用者及びその家族の健康状態を確認し、また家族等が施設を訪問した際には施設玄関にてバイタルチェックを行い、感染症の疑いや発熱等が確認された場合には面接の中止等を調整した。また、訪問時にはマスク着用のほか、手洗いやアルコール等による手指消毒を行い、一定の距離を置いた面接を行ったことにより訪問時の感染は予防できた。また、職員・来訪者が感染症の病原体を施設外部から持ち込まないように留意した結果、職員間及び来訪者からの感染は予防できた。次年度も感染拡大予防に努めたい。</li> <li>・ 災害時における対応                                      災害時発生時において、必要な居宅サービスが継続的に提供できるように、利用者の緊急連絡先、避難先、かかりつけ医などの情報を最新のものに更新した。また、デイサービスセンターやすらぎの研修や訓練に参加することで、避難経路の確保や誘導などの理解を深めることができた。                                      次年度は利用者の情報に変更があればタイムリーに更新し、居宅介護支援事業所の特性に応じた研修及び訓練に取り組んでいきたい。</li> </ul> </li> </ul>					



令和4年度

# 事業報告書

やすらぎ居宅介護支援事業所

## 〈基本理念〉

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

## 〈重点項目〉

- ① 第4期経営5か年計画（4年目）の推進
- ② 地域の福祉ニーズに応じた公益的事業を推進する
- ③ 在宅生活の継続的支援及び新規依頼者の確保
- ④ 自立支援及び介護予防に向けたケアマネジメントの実践
- ⑤ 地域包括支援センター・居宅サービス提供事業所・医療機関との連携
- ⑥ 「介護予防・日常生活支援総合事業」の効果的な運用
- ⑦ 人材養成の積極的展開
- ⑧ 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施
- ⑨ 感染症予防対策の強化及び災害時の対応
- ⑩ 高齢者虐待防止に向けた対策

本年度は、当法人の基本理念に基づき第4期経営5か年計画の4年目として、以下の事業を取組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

事業運営状況は、要介護状態の新規依頼件数及び再利用は年間74件で、入院・入所及び死亡や予防への変更等による減少件数は年間62件で年間の給付管理件数は前年度比94件の増であった。

年間の給付管理件数は月平均136.5件で前年度比7.8件の増となった。

介護予防における依頼件数は月平均40.7件で前年度比5.4件の減であったが、介護件数と共に予算は達成できた。

### 1 第4期経営5か年計画（4年目）の推進

本年度は、第4期経営5か年計画の4年目として経営計画検証委員会において計画に対する実践状況の検証を行った結果、概ね計画どおり推進することができた。

次年度も引続き、第4期経営5か年計画の最終年度として「地域貢献への積極的展開」「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」「経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す」の3つを重点目標に掲げ、法人理念の5本柱をもとに第4期経営5か年計画を積極的に推進していきたい。

特に、次年度が第4期経営5か年計画の最終年度であることから、法人の設置する経営計画策定委員会に参画し、第4期経営5か年計画の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定に取り組みたい。

### 2 地域の福祉ニーズに応じた公益的事業を推進する

法人が主体となり在宅介護支援センターやすらぎを事務局とする地域貢献推進委員会に参画した。

また、在宅介護支援センター主催の認知症予防教室、介護技術講習、介護者教室、転倒予防教室に参加し、居宅介護支援事業所として知識技術を地域に福祉還元できた。

次年度も在宅介護支援センターと協力し教室等への参加し公益的事業に取り組みたい。

### 3 在宅生活の継続的支援及び新規依頼者の確保

顧客確保対策の一貫として、在宅介護支援センターの活動の一つである各地域で開催した介護教室（転倒予防・認知症予防・介護技術講習）に積極的に参加し、やすらぎ居宅介護支援事業所のPRに努めた。

特に本年度は新規依頼者確保に向けて地域包括支援センターや総合病院の医療連携室の訪問及び、老健施設への紹介依頼を重ねた結果、療養型施設や介護施設への入所希望も多くあったものの、関係機関からの紹介件数が増加したことで、要介護管理件数の予算は達成できた。

介護予防件数についても、在宅介護支援センターやすらぎ及び地域包括支援センター等との連携を図ったことで、予算は達成できた。

次年度も地域包括支援センターなど各関係機関との連携を継続し、新規依頼者の獲得に繋げたい。

また、デイサービスセンターやすらぎが計画する認知症カフェに参画し、新規依頼の確保に取り組みたい。

### 4 自立支援及び介護予防に向けたケアマネジメントの実践

介護保険制度において、サービスの利用は居宅サービス計画に基づき提供されるものであるため、計画の作成にあたっては、利用者自身及び家族の意向、個々の生活状況や心身の状況、環境面を確認し、在宅生活を継続していくための課題分析を行い、サービス担当者会議の開催や主治医への連絡等を適切に行い、利用者の在宅生活に対する計画目標が達成できるように支援に努めた。

本年度は引続き、デイやすらぎのミーティングに主体的に参加し、得た情報を基に利用者の自宅を訪問し、身体状況や生活環境面を具体的に確認することができ、利用者の自立生活支援とともに介護者の精神的・身体的負担の軽減に努めることができたことは評価できる。

次年度も利用者及び介護者の状況を具体的に確認した上で、利用者の自立支援や介護者への介護負担軽減に取り組みたい。

## 5 地域包括支援センター・居宅サービス提供事業所・医療機関との連携

居宅サービス計画に対しては、認定の更新時や変更時には各サービス事業所や医療機関とともに「サービス担当者会議」を開催し、目標の共有やサービス内容の確認及びサービスに対する意向・希望等を確認するようにした結果、サービスの利用状況や問題等が明確になり、サービスの調整がスムーズに行えた。

特に、デイ・やすらぎとの連携・一体化において、継続してミーティングへの主体的参加のもとで、情報の発信と受信に意識して取り組んだ結果、利用者の置かれている環境を相互に理解することができ、サービスを効果的に利用することで在宅生活の継続可能につながる支援ができたことは評価できる。

次年度も引続き、当法人内のサービス事業所との連携をより一層強化し、やすらぎ居宅介護支援事業所が当法人の介護サービスの窓口としての機能を果たしていきたい。

## 6 「介護予防・日常生活支援総合事業」の効果的な運用

介護予防及び日常生活支援を目的として、要支援者及び事業対象者の心身の状況、置かれている環境その他の状況に応じて、適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう地域包括支援センターと連携しながら取り組んだ結果、利用者の意向に添った支援ができた。

次年度においても、引続き地域包括支援センターと連携しながら総合事業を効果的に運用し、サービスに結び付ける事で利用者の支援を行っていきたい。

## 7 人材育成の積極的展開

### 1) 基本理念の周知徹底

基本理念の徹底と専門性の向上を図るために、研修を通じて内容の確認と理解に努めた。その結果、職員全員が同じ方向に向かって業務を行う事を意識できた。

次年度も研修により基本理念の理解を深めながら、基本理念を意識した業務が行えるように努める。

### 2) 従事職員の資質の向上及び人材育成のための研修を実施する

#### ① 新任職員指導

本年度は、新任職員の採用は無かったが、次年度も新任職員の採用があればチューター及び各職員協力のもとケアマネジメントの習得ができるように取り組みたい。

#### ② 中堅職員の研修

内部研修においては、各職員が講師役を務めて業務に関するテーマで毎月開催したほか、階層別研修に計画的に参加することで資質向上に努めた。次年度も引続き事例検討会や多職種連携などの研修を実施し、各職員の資質の向上に取り組みたい。

#### ③ 所内・派遣研修

本年度は、ケアマネジメントにかかる基礎知識をはじめとして、介護保険制度や医療連携、障害福祉など、各団体が主催する研修会への参加やデイサービスやすらぎの職員研修にも参加し、専門知識と資質の向上に取組めた。次年度も引続き資質の向上に向けて各団体の主催する研修会やデイサービスやすらぎの職員研修会などに参加していく。

#### ④ ケアプラン作成に係る研修

外部研修においては、介護支援専門員の資質向上と自己研鑽のために、関係機関が主催するリモート研修等に積極的に参加した結果、ケアマネジメントに必要な知識を深めることができた。次年度も外部研修に積極的に参加し介護支援専門員の資質向上に取り組みたい。

### 3) 人事考課制度の運用

人事考課制度により、業務に対して目標を設定した。その結果、各職員がどのようにすれば目標が達成できるか考えながら業務が行えた。また、目標に届かなくても、それに対する課題を見出し取り組むことができた。よって、次年度も設定した新たな目標の達成に向けて取り組み、また残された課題に向合いながら、自己の成長に繋げていけるように努めたい。

## 8 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施

### 1) 利用者及び家族の満足度を量るためのアンケート調査の実施

利用者満足度調査を令和5年2月10日～令和5年2月28日実施し、潜在化している声や意向を把握し、サービスに反映したケアマネジメントを意識することができた。また、アンケートに対する利用者・家族の評価は概ね良好であった。

次年度も、施設独自のサービス満足度調査を実施することで、継続して利用者・家族の意向を聞き取り、サービスに反映させていく。

### 2) サービス自己評価の実施

評価できる点として地域住民や地区民生委員などの協力による適切なケアマネジメントを実践し、地域包括支援センター・各サービス提供事業者・医療機関との連携を密にし、また、社会資源の情報などを把握し利用者・家族に情報提供することで利用者の支援に取り組めた。

しかし、サービス自己評価からの課題であった定期的なマニュアルの見直しについては、計画的な改善には至らなかった。

よって、次年度は、サービス自己評価によるサービスの質の向上に向けての課題を計画的に改善できるように取り組み、また、適切なケアマネジメントが引続き実践できるように取り組んでいきたい。

## 9 感染症予防対策の強化及び災害時の対応

### 1) BCP（業務継続計画）の策定及び訓練（シミュレーション）の実施

#### ① BCP（業務継続計画）の策定

法人本部が主催する業務継続計画策定委員会に参画し、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な居宅サービスが継続的に提供できる体制がとれるようにBCP（業務継続計画）の策定に取り組んだ。

#### ② 研修及び訓練の実施

本年度は、BCP（業務継続計画）を策定したものの、研修及び訓練の実施までには至らなかったため、次年度は策定したBCP（業務継続計画）に基づき、感染症発生時及び災害発生時等の対応について、研修及び訓練（シミュレーション）に取り組むたい。

### 2) 感染症予防対策の強化

感染症の発生・拡大・再発防止のため、感染症予防策の徹底や職員研修の実施により感染予防に努めた。

#### ① 感染経路の遮断（病原体を持ち込まない、持ち出さない、拡げない）

i) 職員が訪問先で利用者及びその家族の健康状態を確認し、また家族等が施設を訪問した際には施設玄関にてバイタルチェックを行い、感染症の疑いや発熱等が確認された場合には面接の中止等を調整した。その結果、利用者及び家族からの感染を予防できた。

ii) 標準予防策（スタンダード・プリコーション）の徹底として、訪問時にマスク着用のほか、手洗いやアルコール等による手指消毒を行い、一定の距離を置いた面接を行ったことにより訪問時の感染は予防できた。

iii) 職員、来訪者が感染症の病原体を施設外部から持ち込まないように留意した。その結果、職員間及び来訪者からの感染は予防できた。

#### ② 感染症対策委員会への参加

デイサービスセンターやすらぎが定期的で開催する感染症対策委員会に積極的に参加し感染症対策マニュアルの更新を行った。また、研修の参加により、感染予防対策の意義・重要性について周知する事ができた。

次年度も引続き、感染症対策委員会及び職員研修に積極的に参加し、感染症予防対策への周知徹底を図っていききたい。

#### ③ 感染症発生時の対応

併設事業所のデイサービスセンターやすらぎにおいて新型コロナウイルスの感染が判明した際に、感染症対策マニュアルに基づき、感染症拡大防止の対応策を講じ、施設の消毒や利用者への訪問を一時中止し電話などによる様子確認及びサービス調整を行った。その結果、職員への感染予防に繋がった。

次年度も引続き、感染症対策マニュアルに基づいて対応していききたい。

### 3) 災害時における対応

災害時発生時において、必要な居宅サービスが継続的に提供できるように、利用者の緊急連絡先、避難先、かかりつけ医などの情報を最新のものに更新した。また、デイサービスセンターやすらぎの研修や訓練に参加することで、避難経路の確保や誘導などの理解を深めることができた。次年度は利用者の情報に変更があればタイムリーに更新し、居宅介護支援事業所の特性に応じた研修及び訓練に取り組んでいきたい。

## 10 高齢者虐待防止に向けた対策

利用者の人権の擁護、虐待の防止等の観点から、虐待の発生又はその再発を防止するため、デイサービスセンターやすらぎの高齢者虐待防止委員会に積極的に参加し、高齢者虐待防止マニュアルの更新や研修への参加により高齢者の権利擁護について確認し、利用者の人権を尊重したケアマネジメントの必要性について再確認できた。

次年度も利用者の人権を尊重したケアマネジメントが出来るように、デイサービスセンターやすらぎの職員研修や各団体の開催する研修会への参加などにより人権擁護に取り組んでいく。

# 令和4年度 事業報告書

在宅介護支援センターやすらぎ				
稼働状況		令和4年度	令和3年度	前年度対比
	相談実人数	484名	473名	11名
	相談延件数	670件	605件	65件
	地域包括支援センター協力業務件数	331件	363件	-32件
重点項目	① 地域高齢者の実態を把握し、介護予防の拠点としての機能の強化 ② 地域包括支援センターとの連携 ③ 感染症予防対策の強化 ④ 人材養成の積極的展開			
総括	<p>① 地域高齢者の実態を把握し、介護予防の拠点としての機能の強化            高齢者の在宅支援の一つである地域包括支援センターのランチ機能として、高齢者世帯や独居高齢者世帯等を中心に相談協力員、福祉推進委員との連携を密に行い、独居高齢者や高齢者世帯を対象に定期的に訪問し、基本情報やチェックリストを用いて、対象者の実態把握を行い、介護予防に努めてきた。            活動実績としては、相談延件数は670件（電話相談171件、来所相談22件、訪問相談478件）で前年度比65件の増、相談実人員は484名で前年度比11名の増となった。            また、塩屋地区・西部地区で開催される民児協定例会に毎月参加し、地域との関係づくりとともに介護保険制度改正や行政機関からの情報提供及び介護予防教室開催等の連絡を行った。            更には、介護予防の拠点として小地域を対象に多くの地域高齢者に参加してもらいたいとの思いから、本年度も介護者教室等を企画し、新型コロナウイルス感染症の流行もあったが、参加人数の増加がみられた。「認知症予防教室」においては、木生谷地区・天和地区にて年2回（令和4年6月1日、7月7日）開催し、23名の参加であったが、参加者は前年比3名の増加となった。また、「転倒予防教室」は、天和地区にて年2回（令和4年7月22日、9月15日）開催し、32名の参加、「介護者教室」は、天和地区・塩屋東地区で年2回（令和4年4月6日、10月13日）開催し、21名の参加となった。「介護技術講習」は、大津・天神山・福浦・塩屋地区で年4回（令和4年6月21日、7月4日、8月27日、11月15日）開催し、60名の参加であったが、参加者は前年度比7名の増加となった。昨年度と同様に、いずれの地区も認知症予防や転倒予防への関心は高く、脳トレや体操等を積極的に取り組む姿勢がみられた。</p> <p>② 地域包括支援センターとの連携強化            地域包括支援センターとの同行訪問や連絡調整により在宅での状態把握や目標を共有し、高齢者が自立した生活が継続できるように努めた。            また、地域包括支援センターが主催する地域ケア会議や在宅介護支援センター連絡会に毎月参加し、困難事例の検討や検証を行うことで、地域で生活する高齢者の情報共有に努め、課題解決に向けて取り組んだ。            更には、地域包括支援センターと連携して、「認知症サポーター養成講座」を令和4年9月29日に開催し、地域で生活される方々の認知症高齢者に対する知識を深めていただける機会となった。            地域包括支援センター協力業務においては、年間目標360件に対し331件で29件の減となり目標を達成することが出来なかった。しかしコロナ禍ではあるが、目標の数値に近づいているため、次年度も継続して、地域包括支援センターと連携のもと、訪問対象者の状況を整理した「一人暮らし老人台帳」及び「高齢者世帯台帳」の内容の充実を図り、地域の高齢者が在宅で安心した生活が継続できる見守り支援及び環境整備に努める。</p> <p>③ 感染症予防対策の強化            訪問先の対象者の健康状態を確認し、マスクやゴーグルの装着、手指消毒を行ったうえで訪問を行った。また、必要に応じて、家には上がらず玄関先での対面等を行い、訪問先の方に安心感を持っていただくなどの配慮を行った結果、感染予防が図れた。</p> <p>④ 人材養成の積極的展開            本年度は、令和4年9月1日付で採用した相談員1名に対してチューター制を活用した職員育成に取り組んだ結果、相談援助業務の基礎を習得することができた。            さらに、新任職員研修の進捗状況の検証やチューター制に対する職員の理解を深めたことで、チューター制を適正に活用することができた。次年度も継続して、効果的な運用に努めたい。</p>			

令和4年度

## 事業報告書

在宅介護支援センターやすらぎ

### 〈基本理念〉

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

### 〈重点項目〉

- ① 地域高齢者の実態を把握し、介護予防の拠点としての機能の強化
- ② 地域包括支援センターとの連携
- ③ 感染症予防対策の強化
- ④ 人材養成の積極的展開

本年度は、上記基本理念に基づき、以下の事業を重点的に取組むとともに、桜谷荘季節行事等へも参画し、法人内事業所間の連携や職員間の交流に積極的に取り組んできた。

在宅介護支援は、地域に一番近い相談できる場所として積極的に地域の高齢者宅を訪問して身体状況や生活状態を把握し、適時相談業務を行い、地域との関係を大切に在宅支援をしてきた。

また、本年度の事業の運営状況は、相談延件数は670件で前年度比65件の増、相談実人員は484名で前年度比11名の増、地域包括支援センター協力業務件数は年間延331件で前年度比32件の減となった。

なお、相談内容は、例年と同様に医療・健康・介護保険が大部分を占めている。

#### 1 地域高齢者の実態を把握し、介護予防の拠点としての機能の強化

高齢者の在宅支援の一つである地域包括支援センターのランチ機能として、高齢者世帯や独居高齢者世帯等を中心に相談協力員、福祉推進委員との連携を密に行い、独居高齢者や高齢者世帯を対象に定期的に訪問し、基本情報やチェックリストを用いて、対象者の実態把握を行い、介護予防に努めてきた。

活動実績としては、相談延件数670件（電話相談171件、来所相談22件、訪問相談478件）で前年度比65件の増、相談実人員は484名で前年度比11名の増となった。

また、塩屋地区・西部地区で開催される民児協定例会に毎月参加し、地域との関係づくりとともに介護保険制度改正や行政機関からの情報提供及び介護予防教室開催等の連絡を行った。

更には、介護予防の拠点として小地域を対象に多くの地域高齢者に参加してもらいたいとの思いから、本年度も介護者教室等を企画し、新型コロナウイルス感染症の流行もあったが、参加人数の増加がみられた。「認知症予防教室」においては、木生谷地区・天和地区にて年2回（令和4年6月1日、7月7日）開催し、23名の参加であったが、参加者は前年比3名の増加となった。また、「転倒予防教室」は、天和地区にて年2回（令和4年7月22日、9月15日）開催し、32名の参加、「介護者教室」は、天和地区・塩屋東地区で年2回（令和4年4月6日、10月13日）開催し、21名の参加となった。「介護技術講習」は、大津・天神山・福浦・塩屋地区で年4回（令和4年6月21日、7月4日、8月27日、11月15日）開催し、60名の参加であったが、参加者は前年度比7名の増加となった。昨年度と同様に、いずれの地区も認知症予防や転倒予防への関心は高く、脳トレや体操等を積極的に取り組む姿勢がみられた。

#### 2 地域包括支援センターとの連携強化

地域包括支援センターとの同行訪問や連絡調整により在宅での状態把握や目標を共有し、高齢者が自立した生活が継続できるように努めた。

また、地域包括支援センターが主催する地域ケア会議や在宅介護支援センター連絡会に毎月参加し、困難事例の検討や検証を行うことで、地域で生活する高齢者の情報共有に努め、課題解決に向けて取り組んだ。

更には、地域包括支援センターと連携して、「認知症サポーター養成講座」を令和4年9月29日に開催し、地域で生活される方々の認知症高齢者に対する知識を深めていただける機会となった。

地域包括支援センター協力業務においては、年間目標360件に対し331件で29件の減となり目標を達成することが出来なかった。しかしコロナ禍ではあるが、目標の数値に近づいているため、次年度も継続して、地域包括支援センターと連携のもと、訪問対象者の状況を整理した「一人暮らし老人台帳」及び「高齢者世帯台帳」の内容の充実を図り、地域の高齢者が在宅で安心した生活が継続できる見守り支援及び環境整備に努める。

#### 3 感染症予防対策の強化

訪問先の対象者の健康状態を確認し、マスクやゴーグルの装着、手指消毒を行ったうえで訪問を行った。また、必要に応じて、家には上がらず玄関先での対面等を行い、訪問先の方に安心感を持っていただくなどの配慮を行った結果、感染予防が図れた。

令和4年12月9日にデイやすらぎが開催した感染予防策の意義・重要性について研修に参加し、職員の意識の向上と予防対策の周知徹底を図ると共に、業務継続計画を基に、訓練（シミュレーション）を実施した。

#### 4 人材養成の積極的展開

##### 1) 基本理念の周知徹底

事業所内においては、基本理念の徹底と専門性の向上を図るために、やすらぎ居宅介護支援事業所との連携のもと、基本理念の研修に参加して、法人の中で在宅介護支援センターが何を担っているかという視点を確認することが出来た。

##### 2) 従事職員の資質の向上及び人材育成のための研修

本年度は、令和4年9月1日付で採用した相談員1名に対してチューター制を活用した職員育成に取り組んだ結果、相談援助業務の基礎を習得することができた。

さらに、新任職員研修の進捗状況の検証やチューター制に対する職員の理解を深めたことで、チューター制を適正に活用することができた。次年度も継続して、効果的な運用に努めたい。

チューター制を効果的に活用するため、達成目標に沿った実践及び検証を行い、定期的な面談、日々の振り返り、OJTによる実地指導など、きめ細やかな指導を実施した結果、概ね目標を達成できた。

在宅介護支援センターやすらぎが主催する教室関係においても、自身で企画・立案・連絡調整等を行い、適正に開催することが出来た。

また、外部研修においては、兵庫県在介協、赤穂市老施協等の研修会に参加し、在宅介護支援センターの動向等をはじめ、相談援助技術や高齢者介護の理解等、知識習得に努めた。

##### 3) 人事考課制度の運用

人事考課制度により、職員個々の自己評価と評価者との育成面接を継続して行い、自己成長シートを活用し、就業にかかる目的の明確化を図り、自己成長から人材育成へ、そして、信頼関係の確立に努めた。

次年度も引き続き、本来の「人を育てる」と「信頼関係」という目的を達成していくよう、人事考課制度の一層の充実を図る。

令和4年度

# 職 員 研 修 実 施 状 況

## 1 施設内研修

開 年 月 日	研 修 内 容	講 師 名
4. 4. 5	基本理念について	水田主任CM
5. 5. 31	BCPについて	橋本CM
6. 6. 21	フレイルを予防する食事について（居介四事業所合同研修）	やすらぎ居介担当
7. 7. 26	大規模通所介護利用者の給付管理算定方法について	水田主任CM
8. 8. 25	市町域をこえた急変時連携の推進について	橋本CM
9. 9. 15	引きこもり状態にある人への支援について	伯鳳会ケアセンター担当
10. 10. 25	糖尿病性腎症重症化予防の取組みについて	福田CM
11. 11. 24	「豊かな人生を生きるため、人生の最後について考えよう」について	福田CM
12. 12. 15	インフォーマルサービスについて	木本管理者
5. 1. 31	在宅介護支援センターについて	在介相談員
2. 2. 20	理学療法士との連携について（居介四事業所合同研修）	居宅はくほう担当
3. 3. 13	地域医療介護・福祉懇談会	赤穂市民病院MSW

## 2 施設外研修

開 年 月 日	研 修 内 容	実 施 場 所
4. 8. 10	インフォーマルサービスについて	総合福祉会館
8. 8. 16	防災対応力向上研修	オンライン
8. 8. 25	広域的な急変時の医療介護連携の推進について	オンライン
9. 9. 26	多職種連携研修会	地域包括支援センター
5. 2. 16	薬の豆知識について	総合福祉会館
2. 2. 22	日常療養支援のあり方について	オンライン
3. 3. 13	成年後見制度について	オンライン
3. 3. 24	多職種と考える地域ケア個別会議	赤穂市民会館

令和4年度

## 介護保険関係会議出席状況

開 年 月 日	会 議 内 容	出 席 者	実 施 場 所
4. 4. 13	第1回赤穂市主任介護支援専門員連絡会	水田主任CM	総合福祉会館
6. 8	第2回赤穂市主任介護支援専門員連絡会	水田主任CM	総合福祉会館
8. 10	第3回赤穂市主任介護支援専門員連絡会	木本管理者、水田主任CM	総合福祉会館
10. 13	第4回赤穂市主任介護支援専門員連絡会	水田主任CM	総合福祉会館
12. 13	第5回赤穂市主任介護支援専門員連絡会	水田主任CM	総合福祉会館
5. 2. 9	第6回赤穂市主任介護支援専門員連絡会	水田主任CM	総合福祉会館

令和4年度

## 市関係会議出席状況

開 年 月 日	会 議 内 容	出 席 者	実 施 場 所
4. 4. 22	第1回地域ケア会議（全体会）	水田主任CM	総合福祉会館
7. 8	第2回赤穂市自立支援型地域ケア個別会議	橋本CM	総合福祉会館
7. 29	第1回赤穂市在宅医療・介護連携推進会議	水田主任CM	総合福祉会館
8. 4	第2回地域ケア会議（全体会）	水田主任CM	総合福祉会館
8. 10	生活支援サービス実施団体情報交換会	木本管理者、水田主任CM、橋本CM	総合福祉会館
8. 25	西播磨医療介護連携推進会議・意見交換会	木本管理者、水田主任CM、橋本CM	総合福祉会館
9. 5	第1回赤穂市地域づくり加速化事業意見交換会	橋本CM	総合福祉会館
10. 31	第2回赤穂市地域づくり加速化事業意見交換会	橋本CM、福田CM	総合福祉会館
11. 10	第2回赤穂市在宅医療・介護連携推進会議	水田主任CM	総合福祉会館
12. 22	第3回地域ケア会議（全体会）	水田主任CM	総合福祉会館
5. 2. 3	第3回赤穂市地域づくり加速化事業意見交換会	橋本CM	総合福祉会館
3. 9	第3回赤穂市在宅医療・介護連携推進会議	水田主任CM	総合福祉会館
3. 13	地域医療介護福祉懇談会	水田主任CM	オンライン
3. 24	多職種と考える地域ケア個別会議	水田主任CM	赤穂市民会館

令和4年度

## 塩屋・西部地区民生委員定例会参加状況

交 流 年 月 日	内 容	参 加 場 所
4. 4. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
4. 6	高齢者の状況について	赤穂西公民館
5. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
5. 6	高齢者の状況について	赤穂西公民館
6. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
6. 6	高齢者の状況について	赤穂西公民館
7. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
7. 5	高齢者の状況について	赤穂西公民館
8. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
8. 8	高齢者の状況について	赤穂西公民館
9. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
9. 5	高齢者の状況について	赤穂西公民館
10. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
10. 3	高齢者の状況について	赤穂西公民館
11. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
11. 9	高齢者の状況について	赤穂西公民館
12. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
12. 8	高齢者の状況について	赤穂西公民館
5. 1. 4	高齢者の状況について	塩屋公民館
1. 5	高齢者の状況について	赤穂西公民館
2. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
2. 9	高齢者の状況について	赤穂西公民館
3. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
3. 9	高齢者の状況について	赤穂西公民館



令和4年度

## 地域との交流事業(介護予防教室・介護者教室)

交 流 年 月 日	内 容	参 加 場 所
4. 4. 6	介護者教室(赤穂市委託)(13名)	赤穂西公民館
6. 1	認知症予防教室(赤穂市委託)(9名)	木生谷集会所
6. 21	兵庫県介護技術普及事業(介護技術講習)(14名)	天神山集会所
7. 4	兵庫県介護技術普及事業(介護技術講習)(11名)	福浦本町東集会所
7. 7	認知症予防教室(赤穂市委託)(8名)	天和集会所
7. 22	転倒予防教室(赤穂市委託)(13名)	真木集会所
8. 27	兵庫県介護技術普及事業(介護技術講習)(15名)	塩屋公民館
9. 15	転倒予防教室(赤穂市委託)(15名)	赤穂西公民館
10. 13	介護者教室(赤穂市委託)(11名)	塩屋東自治会南集会所
11. 15	兵庫県介護技術普及事業(介護技術講習)(8名)	大津中央集会所

令和4年度

## 地 域 貢 献 事 業 関 係

参 加 年 月 日	内 容	講 師	開 催 場 所
4. 4. 28	第1回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
5. 26	第2回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
6. 23	第3回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
7. 28	第4回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
8. 25	第5回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
9. 14	第6回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
10. 25	第7回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
11. 8	第8回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
11. 19	第9回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
11. 28	第10回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター

平成31年度

### 地域との交流事業(介護予防教室・介護者教室)

交 流 年 月 日	内 容	参 加 場 所
1. 6 20	兵庫県介護技術普及事業(介護技術講習)(24名)	赤穂西公民館 福浦本町集会所 折方児童センター
1. 6 24	認知症予防教室(赤穂市委託)(10名)	
1. 7 3	兵庫県介護技術普及事業(介護技術講習)(15名)	
.		
.		

平成31年度

### 地 域 貢 献 事 業 関 係

参 加 年 月 日	内 容	講 師	開 催 場 所
1. 5 28	第1回地域密着型ボランティア養成講座プロジェクト委員会		
1. 6 26	第1回地域密着型ボランティア養成講座プロジェクト委員会		

平成30年度

# 職員研修実施状況

## 1 施設内研修

開催 年月日	研修 内容	講師 名
・		

## 2 施設外研修

開催 年月日	研修 内容	実施 場所
・		

年度

## 介護保険関係会議出席状況

開 年 月	催 日	会 議 内 容	出 席 者	実 施 場 所

年度

## 市 関 係 会 議 出 席 状 況

開 年 月	催 日	会 議 内 容	出 席 者	実 施 場 所


年度

## 塩屋・西部地区民生委員定例会参加状況

交 年 月	流 日	内 容	参 加 場 所

令和4年度

## 地域との交流事業(介護予防教室・介護者教室)

交 流 年 月 日	内 容	参 加 場 所
4. 4. 6	介護者教室(赤穂市委託)(13名)	赤穂西公民館
6. 1	認知症予防教室(赤穂市委託)(9名)	木生谷集会所
6. 21	兵庫県介護技術普及事業(介護技術講習)(14名)	天神山集会所
7. 4	兵庫県介護技術普及事業(介護技術講習)(11名)	福浦本町東集会所
7. 7	認知症予防教室(赤穂市委託)(8名)	天和集会所
7. 22	転倒予防教室(赤穂市委託)(13名)	真木集会所
8. 27	兵庫県介護技術普及事業(介護技術講習)(15名)	塩屋公民館
9. 15	転倒予防教室(赤穂市委託)(15名)	赤穂西公民館
10. 13	介護者教室(赤穂市委託)(11名)	塩屋東自治会南集会所
11. 15	兵庫県介護技術普及事業(介護技術講習)(8名)	大津中央集会所

## 地 域 貢 献 事 業 関 係

参 加 日	内 容	講 師	開 催 場 所
4. 5. 26	第1回地域貢献推進委員会		桜谷荘 4F
9. 22	第2回地域貢献推進委員会		桜谷荘 4F
12. 21	第3回地域貢献推進委員会		桜谷荘 4F
4 3 23	第4回地域貢献推進委員会		桜谷荘 4F

令和4年度

# 職員研修実施状況

## 1 施設内研修

開 年 月 日	研 修 内 容	講 師 名
4. 4. 5 7. 28 10. 19 5. 2. 20	基本理念について 高齢者虐待について 基本理念について 人権侵害防止について	金谷相談員 山根介護員 小川主任 鳴瀧施設長

## 2 施設外研修

開 年 月 日	研 修 内 容	実 施 場 所
4. 6. 21 7. 5 7. 12 9. 15 9. 26 9. 29 10. 20 5. 2. 27 3. 24 . . . .	四施設合同研修 兵庫県地域包括・在宅介護支援センター協議会 講演会 西播磨地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会 ZOOM研修 四施設合同研修 赤穂市第1回赤穂市他職種連携研修会 認知症サポーター養成講座 あこう認知症カフェ 認知症ケア向上研修 多職種と考える地域ケア個別会議 . . . .	やすらぎ相談室ZOOM やすらぎ相談室ZOOM やすらぎ相談室ZOOM 総合福祉会館 総合福祉会館 総合福祉会館 総合福祉会館 総合福祉会館 総合福祉会館 総合福祉会館 総合福祉会館 . . . .

令和4年度

## 介護保険関係会議出席状況

開 年 月 日	催 日	会 議 内 容	出 席 者	実 施 場 所

令和4年度

## 市関係会議出席状況

開 年 月 日	催 日	会 議 内 容	出 席 者	実 施 場 所
4.	4. 28	第1回地域ケア会議（全体会）	北垣相談員	総合福祉会館
	5. 18	在宅介護支援センター連絡会	北垣相談員	地域包括支援センター 相談室
	7. 20	在宅介護支援センター連絡会	北垣相談員	地域包括支援センター 相談室
	7. 29	第1回赤穂市在宅医療・介護連携推進会議	北垣相談員	総合福祉会館
	8. 4	第2回地域ケア会議（全体会）	北垣相談員	総合福祉会館
	9. 5	第1回地域づくり加速化事業意見交換会	瀧井相談員	総合福祉会館
	10. 31	第2回地域づくり加速化事業意見交換会	瀧井相談員	総合福祉会館
	11. 10	赤穂市在宅医療・介護連携推進会議	瀧井相談員	総合福祉会館
	11. 16	在宅介護支援センター連絡会	瀧井相談員	地域包括支援センター 相談室
	12. 22	第3回地域ケア会議（全体会）	瀧井相談員	総合福祉会館
5.	1. 19	在宅介護支援センター連絡会	瀧井相談員	地域包括支援センター 相談室
	2. 3	第3回地域づくり加速化事業意見交換会	瀧井相談員	総合福祉会館
	3. 9	赤穂市在宅医療・介護連携推進会議	瀧井相談員	総合福祉会館
	3. 16	在宅介護支援センター連絡会	瀧井相談員	地域包括支援センター 相談室
	4. 27	第3回地域ケア介護（全体会）	瀧井相談員	総合福祉会館

## 講師派遣状況

派遣 年月日	派 遣 内 容	派 遣 者	派 遣 場 所
4. 4. 4	兵庫大学実習生受け入れ（4/4～4/9）	北垣相談員	在介

## 塩屋・西部地区民生委員定例会参加状況

交流 年月日	内 容	参 加 場 所
4. 4. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
4. 4. 6	高齢者の状況について	赤穂西公民館
5. 5. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
5. 5. 6	高齢者の状況について	赤穂西公民館
6. 6. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
6. 6. 6	高齢者の状況について	赤穂西公民館
7. 7. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
7. 7. 5	高齢者の状況について	赤穂西公民館
8. 8. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
8. 8. 3	高齢者の状況について	赤穂西公民館
9. 9. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
10. 10. 5	高齢者の状況について	赤穂西公民館
12. 12. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
12. 12. 8	高齢者の状況について	赤穂西公民館
5. 1. 6	高齢者の状況について	塩屋公民館
5. 2. 9	高齢者の状況について	赤穂西公民館
5. 3. 9	高齢者の状況について	赤穂西公民館